

## 地域労力支援システムの構築

【平成24年度長崎県普及現地事例情報（県央振興局農林部）】

[抄録]

J A長崎せいひ管内の認定農業者 1,024 戸。経営品目は果樹、施設野菜等様々で高齢化も進行中。

1. 「ながさき農援隊設置事業」が前年度で終了し、J A長崎せいひでは職業紹介事業と労働保険事務組合等を活用した労力支援システムの運用開始を予定しているが、システム構築には課題が多い。

2. 規模の大きな経営体は雇用を行っているが、労働災害や労務管理に対する認識が不十分。

[本文]

詳細は添付ファイルを参照ください

## 普及活動の成果

課題名	地域労力支援システムの構築	振興局名	県央振興局
活動対象	JA長崎せいひ管内の認定農業者	実施年度	平成24年度
<p><b>【対象の概要】</b> JA長崎せいひ管内の認定農業者1024戸。経営品目は果樹、施設野菜等様々で高齢化も進行中。</p> <p><b>【課題設定の背景】</b> 1 「ながさき農援隊設置事業」が前年度で終了し、JA長崎せいひでは職業紹介事業と労働保険事務組合等を活用した労力支援システムの運用開始を予定しているが、システム構築には課題が多い。 2 規模の大きな経営体は雇用を行っているが、労働災害や労務管理に対する認識が不十分。</p> <p><b>【活動目標】</b> 1 関係機関で協議会を組織し農協が行う労力支援に助言を行い、労力支援システムの構築を図る。 2 研修会等の開催により、農業経営者の労務管理能力の向上等を図る。</p> <p><b>【関係機関との連携（活動体制・役割分担）】</b> ・ 県市町関係機関（含む農委）：県央振興局、長崎市、西海市、長与町、時津町、諫早市（多良見支所） ・ 雇用労力支援システム運用機関：JA長崎せいひ ・ 無料職業紹介所（長崎市農業センター） ・ 労働保険事務組合（長与町内、諫早市多良見地区）</p> <p><b>【活動経過】</b> 1 労力支援方策の提案 ・ 雇用労力支援協議会の設立（H24.4.25） 行政機関代表（長崎市）を会長、システム運用機関（JA）を副会長、普及組織（振興局）が事務局を担当する「長崎西彼地域雇用労力支援協議会」を設立。前年度末に地域農業振興協議会の研究組織が策定し、JA理事会へ提案した計画案（スキーム）を踏まえたシステム確立への助言等を開始。 ・ プロジェクトチーム会の活動（7.4、10.19、H25.3.8） 雇用労力支援協議会の下部組織として構成機関員によるプロジェクトチーム会を発足（7.4）。 職業紹介事業所開設の進捗確認、先進事例視察研修等の内容・日程協議などの活動を展開。 ・ 先進事例視察研修（A：12.11＝JA熊本市、B：12.18＝静岡県 JAみっかび） 農業者を対象とした労働保険事務組合（A）と柑橘主産地の職業紹介事業（B）について事例調査。 2 農業者の労務管理能力の向上 ・ 雇用に関する講話とアンケートの実施（H25.2.14、JA女性部・郷土料理コンクールの活用） JA熊本市視察での助言を参考にJA女性部に労力支援に関する講話とアンケート調査を実施。 ・ 雇用動力支援協議会主催の研修会開催（H25.3.21） JA熊本市の相談員を招いて「農業者と労災保険制度」に関する研修会とアンケートを実施。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;雇用労力支援協議会設立総会&gt;</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;第3回プロジェクトチーム会&gt;</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;JA女性部へ労力支援をPR&gt;</p> </div> </div>			

**【普及活動の成果】**

1 労力支援方策の提案

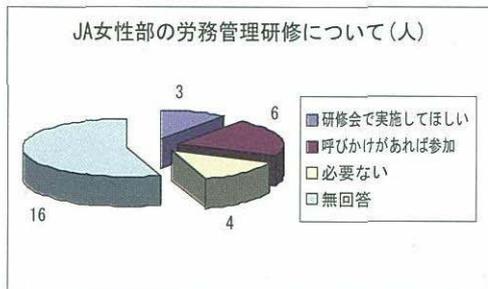
長崎西彼地域雇用労力支援協議会を設立して職業紹介事業開始へ向けた支援を行った結果、「JA長崎せいひ有料職業紹介所」として平成24年11月1日に長崎労働局から認可を取得。

2 農業者の労務管理能力の向上

- ・ JA女性部の研修で労力支援及び労災保険に関してアンケートを実施した結果、更に研修会等で詳細を聞きたいとの意見が寄せられ、少数ではあるが女性部員でも関心があることがわかった。
- ・ 地域雇用労力支援協議会主催の研修会では、JA長崎せいひの担当者が労力支援の取組みを紹介し、JA熊本市の相談員が「農業者と労災保険制度」について講演を行った後に意見交換を実施。長崎西彼管内から約80名が参加。アンケート結果から雇用と労災保険への関心が高いことが判明。



長崎せいひ地域雇用労力支援協議会主催で「農業者と労災保険制度」について研修会を開催



JA女性部研修参加者のアンケート結果



雇用労力支援研修会参加者のアンケート結果

**【対象の声】**

- ・ 労災保険制度については地域（部会や支部等）で多くの人に聞かせたい。また、労災保険制度等に関する研修会があれば出席したい。 = JA女性部員 及び 研修会参加者 =

**【今後の課題】**

1 労力支援方策の提案

当初スキームと進捗状況との乖離を検証しつつ、必要に応じPT会等で見直しを行う必要あり。

2 農業者の労務管理能力の向上

経営主への労務管理に関する基本知識の啓発と労災保険加入意向調査手法の改善等が必要。

**【成果の活用及び普及活動上の留意点】**

1 労力支援方策の提案

本事例では半年前から参考事例調査や認定農業者意向調査などの準備を行い、これを基にシステム構築3ヵ年計画（スキーム）を策定し、運営主体の合意を得て支援活動を開始した。

2 農業者の労務管理能力の向上

農業者に係わる労災保険制度（特別加入、一般加入）について事前に十分調査を行うことが重要。